

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各教室
担 当 教 員	加藤智久 他	実務経験と その関連資格	出雲医療看護専門学校臨床工学士学科専任教員			
《授業科目における学習内容》						
人体の構造と機能について系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造、そして器官の機能、人体における役割を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(100%)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院 系統看護学講座準拠 解剖生理学ワークブック						
《授業外における学習方法》						
解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
解剖生理学ワークブックを事前にしておいて下さい。講義範囲はテキストを読んでおいて下さい。講義終了毎に確認テスト又は小レポート提出があります。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖生理学で何を学ぶのか明確にすることができる。 人体の構造と区分、部位と器官について説明することができる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート	
		各コマにおける授業予定	1.解剖生理学の基礎知識			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	口・咽頭・食道の名称・構造と機能について説明できるようになる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート	
		各コマにおける授業予定	2. 口・咽頭・食道の構造と機能			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	腹部消化管の名称・構造と機能 について説明できるようになる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート	
		各コマにおける授業予定	3. 腹部消化管の構造と機能			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	肝臓・胆嚢の構造が説明できるようになる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート	
		各コマにおける授業予定	4. 肝臓・胆嚢の構造			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	膵臓・腹膜の構造 が説明できるようになる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート	
		各コマにおける授業予定	5. 膵臓・腹膜の構造			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器の構造が説明できるようになる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	6. 呼吸器の構造		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器の機能が説明できるようになる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	7. 呼吸器の機能		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の組成が説明できるようになる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	8. 血液の組成と機能①		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の機能について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	9. 血液の組成と機能②		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の構造の構造と機能について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	10. 心臓の構造		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の血管と神経の構造と機能について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	11. 心臓の血管と神経		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢循環の構造・リンパとリンパ管の構造と機能について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	12. 末梢循環の構造・リンパとリンパ管		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	全身の内分泌腺について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	13.と内分泌細胞①		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌細胞の構造と機能について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	14.全身の内分泌腺と内分泌細胞②		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌細胞の構造と機能について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	15.全身の内分泌腺と内分泌細胞③		